

【六周年記念イベント報告】

去る十月三日(土)にあい・ぽーとの創立六周年記念イベントを開催いたしました。創立イベントは、毎年、「あい・ぽーと」を支えて下さっている皆様への日頃の感謝をこめて、スタッフ一同で企画させて頂いています。

今年はおもちゃ箱「テーマ」に、一日を通して、音と触れ合い楽しんでいただくという企画のもと、マリバ演奏によるオーブニングコンサートやピアノ演奏によるリトミック、子育て・家族支援者さんの朗読による音楽絵本や、ピアノとバイオリンによる演奏の他、ピアノ演奏による親子バレエ等々を実施いたしました。親子バレエは、あい・ぽーとと会員の保護者で、現役バレリーナの方が講師としてご協力下さり、皆でぐるみ割り人形などの名曲と共にバレエの世界を楽しませて頂きました。

また、集いのひろば「ひだまり」では、高校生によるバンド演奏の他、音の出るおもちゃ作りコーナーも開設して、普段とは違う「ひだまり」の間となりました。

当日はあいにくの天気でしたが、一日を通して利用者さん、来賓の方々が百五十名余り来館下さいましたこと、厚く感謝申し上げます。イベントの最後は、高校生のバンド演奏で「あい・ぽーと」を歌い、「あい・ぽーと」に集う沢山の皆様と一緒に、イベントを楽しみ、創立六周年を祝うことが出来た一日となりました。



先生の後について踊る子供たち

全国子育て・家族支援者ニュースレター

あにわにわ通信

第7号

「あにわにわ」とは、ニュージーランドのマオリ語で虹を意味しています。

新政権が発足して二ヶ月近くになります。矢張り早々に打ち出される施策に、新鮮な驚きを覚えておられる方も少なくないでしょう。

新政権のモットーは「コンクリートから人へ」。子どもの育ちを見守り、子育て・家族支援に携わっている私たちに嬉しいメッセージですが、自身の真価はこれからでしょう。概算要求を見ても、子育て支援は子ども手当での支給に予算も話題も集中してしまっていることはいかがなものでしょうか。もとより日本の社会保障は子ども関連への注力が少なかったことを考えれば、子ども手当では社会を上げて子育てを応援しようという一つのメッセージと一定の評価はできます。加えてこの不況ですから、子ども手当では子育て世帯に朗報かも知れません。しかし、子育て支援は現金給付だけではありません。子育てを地域の皆で分かち合うためにも子育て支援拠点の充実を。さらには親が安心して働くことができるために保育所の整備や就学後の放課後対策等が急務です。とりわけ、そこで活躍する人の養成は一朝一夕ではできません。「コンクリートから人へ」ではなく、「人づくりへ」の重要性を訴えていきたいと思えます。

法人代表理事・
惠泉女学園大学 大学院教授
大日向雅美

【バックアップ研修開講予定】

〈港区〉

十一月二十五日(水)
十三時四十五分から十五時十五分
(時間変更になりました。ご注意ください。)
内容 活動報告&話し合い
講師 大日向雅美(本法人代表理事・子育てひろば「あい・ぽーと」施設長)
十二月四日(金) 十四時から十五時三十分
内容 保育記録用紙の書き方&読み方
(二級・三級合同で行います。)
講師 大日向雅美(本法人代表理事・子育てひろば「あい・ぽーと」施設長)
※ 会場はすべて
子育てひろば「あい・ぽーと」二階ホール

〈千代田区〉

平成二十一年
十一月十八日(水) 十五時から十六時三十分
内容 発達障害に対する支援について
講師 三隅輝見子(横浜マリハビリティセンター発達支援部療育課長)
会場 西神田児童センター

※十二月は、一度は開催予定ですが、詳細は未定です。詳しい内容が決まり次第、お知らせいたします。

平成二十二年

一月十五日(金) 十五時から十六時三十分
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言
講師 大日向雅美(本法人代表理事・子育てひろば「あい・ぽーと」施設長)
会場 西神田児童センター

〈浦安市〉

平成二十一年
十一月四日(水) 十五時から十六時三十分

内容 発達障害に対する支援
講師 三隅輝見子(横浜マリハビリティセンター発達支援部療育課長)
対象 二級・三級(ⅠⅡⅢ期生)
会場 浦安市中央図書館

十二月九日(水) 十三時三十分から十五時
内容 子どもと絵本(仮)
講師 浦安市図書館職員
対象 三級Ⅳ期生
会場 浦安市文化会館

平成二十二年
一月十八日(月)
十三時から十四時三十分
《対象:三級ⅠⅡⅢ期生》
・十四時四十五分から十六時十五分

《対象:二級ⅠⅡⅢ期生》
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言
講師 大日向雅美(本法人代表理事・子育てひろば「あい・ぽーと」施設長)
会場 浦安市文化会館

《児童育成クラブ指導員コース》
十二月二日(水) 十時から十一時三十分
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言
講師 野中賢治(財団法人児童健全育成推進財団企画調査室長)
会場 浦安市文化会館

〈高浜市〉

平成二十一年
十月二十六日(月)
十時三十分から十二時
内容 (保育所保育指針を紹介しながら)乳児の発達を支える
講師 伊藤美佳(東洋大学
ライフデザイン学部講師)
会場 高浜市市役所四階 会議室
・十三時四十五分から十五時十五分
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言

法を見直していくことも必要かと思えます。

これからの子育て支援に求められるものをつくつてあげさせてもらいます。

一、「あい・ぽーと」は理由を問わない一時保育を二〇〇三年から実施して、そこに多くの人材を送り込んできましたが、今後は各地域で「ひととき保育」が要求され、ひろがっていくことでしょう。

二、すでに浦安市で実施されている、「子育てケアマネジャー」が今後、求められ、コーディネーターの求められる資質、力量を検討していくことが必要と思えます。

三、家庭を訪問して援助活動をする、派遣型の子育て支援が一層求められています。

四、子育てひろば拠点事業が、もともと全国に広がったかと思えます。その創設、運営リーダーを養成したり、コミュニケーションを豊かに展開できる力量をつける講座を考えていきたいものです。

子育て・家族支援者の養成講座が三級、二級、一級、そしてバックアップ研修の土台に一層カリキュラムの充実をはかり、今、支援者の発掘と質の向上に貢献し全国の人材養成の指標になっていけたらと思えます。

法人理事

バオバブ保育園小さな家園長
遠山 洋一

子育てひろばなど、子育て支援の現場で働くスタッフの資質として、乳幼児の発達、保育・保健・栄養、また地域福祉に関する基礎的な知識と実際の保育の技能がまず必要であることは言うまでもないでしょうが、スタッフに求められる資質の中で最も重要なのは、子育てひろばなどの場を訪ねてくる人を心地よく迎え入れその人の話に耳を傾け、その人の気持ちを受け取り、その人の心に寄り添いつつ励ましていく力ではないでしょうか。

さらに望むならば、その場の空気を和ませ、温かなものとし、「その場を共にする者どうし」という関係性を淡いながらも創りだし、やがては、そこに集う人どうしがお互いを精神的に支え合うような、そついつつながりを創っていく力ではないでしょうか？

こうした力をどうしたら養成できるのかはなかなか難しい課題ですが、現場での経験を振り返

講師 大日向雅美(本法人代表理事・子育てひろば「あい・ぽーと」施設長)
会場 高浜市市役所四階 会議室

十一月二十七日(金) 十時三十分から十二時
内容 沐浴・抱っこ・おむつ交換・授乳等
講師 山田奈央(高浜市福祉部保健福祉グループ保健師)
会場 高浜市市役所四階 会議室(予定)

平成二十二年
①一月十九日(火) ②一月二十日(水) ※
両日とも、九時から十二時
内容 普通救命講習
講師 高浜消防署救急係
会場 高浜消防署

※ ①・②のうちご都合のよい日をお選びいただき、ご参加下さい。

【港区養成講座(三級)開講】

「子育て・家族支援者養成講座(三級)Ⅳ期」が開講されます。全講座を修了し、支援者として認定を受けた人は、「あい・ぽーと」のほか、港区が実施する事業の際の一時保育者として有償で活動が出来ます。

開講日 二〇一〇年一月二十二日(金)
毎週金曜日で三月十二日まで
講義と実習を含む三十コマ

会場 子育てひろば「あい・ぽーと」

【問合せ先】
子育てひろば「あい・ぽーと」
池田まで

TEL
〇三
(五七八六)
三二五〇



Illustrated by GEN

り、話し合い、学び合い、共有していくプロセスの積み重ねが、その基本になるのではないかと思います。こうした課題は、あるいは施設内研修の課題なのかもしれませんが、そこにはそうしたプロセスに寄り添っていくファシリテーターが必要でしょう。

このようなところまで視野に入れた子育て支援の人材育成のシステムづくりが、いま求められているように思えます。

東洋大学専任講師 伊藤 美佳

「子育て支援」という名の下に多くの親子に接するうちに、「本当に必要な支援とは何なのか」という悩みに直面することが多くあるかと思えます。また、そのように考えるたび、親御さん一人一人が求めている支援の形が違うことにも気づかされることでしょう。

これからの人材養成に必要なこと、それは、「子育て支援」に対する自分の信念を持つことは大切ではあるものの、その考えだけに縛られて親子と接するのではなく、目の前にいる親子に対して、柔軟に、それぞれに応じた対応ができる人材の養成ではないでしょうか。

「子育て支援の大切さ」が保育所保育指針・幼稚園教育要領においても大きく示され、親と共に子育てをする保育者の養成が、未来の保育者を育てる大学という場でも求められています。それに伴い、地域の親子の支援を第一の目的としながら、学生自身が実際の親子に触れることで「子育て支援」の持つ意味を体感することを目的に、大学内に常設の広場を開設する大学、常設の広場は無理でも、大学ならではの工夫をしながら、できる範囲での支援の場を提供している大学と、その形は様々でも、保育者養成校における「子育て支援」への取り組みも盛んになってきています。

「こういった社会の流れの中、「子育て支援施設」という現場そのものが養成する人材は、「先生」という立場ではない、保護者と等身大でいられる支援者の養成ができることが大きなメリットであるかと思えます。社会の皆で子育てをするという意識を持って、これからも多くの支援者の方たちが誕生して下さることを期待しています。

2009.10.20

特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション発行

代表理事：大日向 雅美・新澤 誠治

子育てひろば「あい・ぽーと」

住所：107-0062 東京都港区南青山 2-25-1
電話：03-5786-3250 FAX:03-5786-3256
E-mail: info@ai-port.jp
URL: <http://www.ai-port.jp>

全国版子育て・家族支援者養成講座事務局

住所：〒106-0031 東京都港区西麻布 2-24-25-509
電話：03-6657-8539 FAX:03-3499-8539
E-mail: station@ai-port.jp
URL: <http://www.ai-port.jp>

これからの人材養成について

法人代表理事 新澤 誠治

「あい・ぽーと」が創設されて間もなく、代表の大日向雅美先生が「新澤先生、これからは子育て支援の人材養成が必要です」と熱心に言われた姿を思い起こします。それから汐見先生などを説得して、非常な努力で準備され、「子育て・家族支援者養成講座」が開始され、今は港区・千代田区・浦安市・高浜市と広がりました。

現在、全国で人材養成が求められ、各地の養成講座が実施されるようになってきましたが、大日向先生の先見の明と熱意にまず心からの敬意を感じています。この養成講座を受けた人は、「あい・ぽーと」だけでなく、各地の子育て支援の場で活躍をされていて、全国の子育て支援人材養成の先駆的な働きをされるとともに、一つの到達点に達したと思います。しかし、子育て支援、特に子育てひろば拠点事業が一層期待されている今、人材養成も第二ステージに立っていると思えます。

この時点で「これから求められる子育て支援」を展望して、そのもとに、もう一度、現在も成熟したプログラムとありますが、これからも求められる子育て支援を見据えつつ、講座の内容、方

遊ぼう みんなで！ 語ろう 子育て！ キッズフェスタ2009

協力：住友生命保険相互会社 企画・運営：NPO 法人あい・ぼーとステーション&港区

東京国際フォーラム(有楽町)での丸ノ内キッズフェスタに昨年、昨年に引き続き参加させていただきました。今年丸ノ内の参加となり、午前は手遊び・親子体操・リミック・音楽絵本・手作りおもちゃなどで楽しく遊び、午後は子育てを語り合いました。

★「キッズフェスタに参加して」 天野ひかり
なんて居心地のいい空間。
私が一日、ステージと会場と控室にいて、しみじみ感じたことです。
それは、きつと、あい・ぼーとが六年間毎日毎日活動して育て上げた想いが詰まっていたからなのだと思います。
一回限りのイベントでは、とてもあんな空間は作れません。大日向先生が育てたあい・ぼーとの中に、にっぽんの子育て支援のあるべき姿を見せて頂いた気がしました。
子ども達のキラキラした目とお母さん達のリラックスした笑顔。
私も一緒にいられて、とても幸せでした！

★「キッズフェスタに参加して」 町永俊雄
幼い子供が歓声あげて駆けまわり、ベビーカーのそばの父親はあやすのも実になれたものだ。
「子育てをどうする」テーマは大きく根深いのに、会場の雰囲気からか終始なごやかなのは、それぞれがなごっている実感を持っているからだろう。夫と、仲間と、地域と、それぞれがなごっている。
「キッズフェスタ」は、これからの社会はこんな風になつたらいい、そんな思いが集った未来へのマニフェストだ。

★キッズフェスタで体感した子育て支援 住友生命 加納雅之
一日中、とても質の高いプログラムが自由押しで大人の自分も楽しめました。午後の「語ろう、子育て」では、専門の先生方のお話はもちろん、会場の方との質疑応答を通して、子育ての真摯な悩みに向き合うことができました。
あい・ぼーとの楽しい取組みと悩みを考える取組みが、この一日にギュッと濃縮されていました。多くの方にあい・ぼーとを見てもらいたく、来年もこの様な催しを期待しています。

★キッズフェスタへの参加にあたり、多大なるご尽力をいただきました。住友生命保険相互会社調査広報部広報室の加納雅之様、司会の町永俊夫アナウンサー、天野ひかりさんに、メッセージをいただきました。

遊ぼうみんなで！



港区子育て支援部長
杉本隆様



司会 天野ひかり様



住友生命・古河様



オープニング・ミニ・コンサート



りょうこおねえさんと手遊び



親子体操 ～身体であそぼ～



手作りおもちゃ



音楽絵本



リミック

語ろう子育て！

ハンドマッサージや造形保育のコーナーには、プログラム開始前よりたくさんの方にお集まりいただきました。



テーマは「子育てのためいきを聴こう」です。



町永俊雄アナウンサー

楽しく遊んだ後はNHK子どもサポートネット町永俊雄アナウンサーの司会で、子育て相談でお馴染みの汐見稔幸先生、岡健先生、榎原洋一先生、大日向雅美先生を囲んで、会場の皆さまと子育てを語り合いました。



左から 町永アナウンサー・汐見・岡・榎原・大日向先生



会場から積極的に発言される方

サブプログラムも大盛況！



ハンドマッサージのコーナー



保育コーナーで造形遊びをする親子



きれいなお花畑ができました

フィナーレ

丸一日プログラムにお付き合いいただいた最後は、こんどうのぶこ先生(音楽教室「とんとんやかた」主宰)を囲んで、会場とスタッフが一体になって、「わらべうた」でフィナーレです。



こんどう先生のみんなでわらべうた



親も子ども、わらべうたに興味津々



スタッフ一同 閉会の挨拶



皆様、本当にお疲れ様でした！



メインステージでは、住友生命相互保険会社執行役員兼調査広報部長の古河久人様と港区子育て支援部長の杉本隆様から開会のご挨拶をいただきました。

午前中のテーマは、「遊ぼうみんなで！」です。天野ひかりさんの司会のもと、御船あずみさんのバイオリンと岡本輪さんのチェロ、鈴木香代子さんのピアノのトリオによるオープニングコンサート、つのだりょうこさんの手遊び、出井和也さんの親子体操、鈴木香代子さんのリミック、梶浦紀子さんと渡橋和子さん、演奏者の皆様による音楽絵本、小松和人さんの手作りおもちゃ、すくすく子育て相談と、たいへんにごやかなプログラムとなりました。